

## 県営ひたちなかアパート建設事業

受賞機関 茨城県土木部都市局住宅課

はじめに

茨城県ひたちなか市は、県都である水戸市に隣接し、南北約13kmの海岸線を有している。今回建設した「ひたちなかアパート」の敷地は、海岸沿いで整備が進められている「ひたちなか地区」の西端に位置しており、周辺地域は建設中の「常陸那珂港」を中心とする国際港湾都市構想地区となっている。

「ひたちなかアパート」は、この地域開発の先導的立場を担うため、都市景観の形成を重視し、象徴的で特徴的なデザインを採用している。

周辺環境の変化に応じて全体を3種類の街区で構成し、街区ごとにテーマを定め、広場、階段、路地等による新しいコミュニケーション形成の提案を行っている。

事業の概要

- ・所在地：茨城県ひたちなか市新光町
- ・事業年度：平成7年度～平成12年度
- ・全体戸数：150戸
- ・完成年度：A街区……平成9年度（62戸）  
B街区……平成11年度（44戸）  
C街区……平成12年度（44戸）

事業の特徴

敷地を「ひたちなか地区」の中心地に最も近い東側から順にA街区、B街区及びC街区と位置づけ、周辺環境が都市空間から田園空間へと変化することに合わせて、住棟が高層から低層へ、そして、コミュニケーション形成の場が都市的広場から路地へと変化するように各街区の整備を行っている。

- ・A街区…「都市での生活」

「ひたちなか地区」の中心地に最も近く位置しているため、都市空間と位置づけ整備を行っている。

地域のランドマークとなるように象徴的にデザイ



C街区路地から見たA街区及びB街区



住宅内部

ンしたエレベーター塔を有する高層10階建の住棟を中心に、4階建までの住棟を馬蹄型に滑らかに結んだ配置計画としている。

住棟に囲まれるように配置された集会室の上部は、住民の自由なコミュニケーション形成のための利用を期待し、階段状の広場として整備されている。

- ・B街区…「囲い型のパティオの提案」

最小限の階段とエレベーターでアクセスできるようにブリッジで接続された中層4階建の住棟を配置している。住戸形式は間口を約11m確保し、南面3室、ポーチ及びバルコニーを有する解放性が高い数タイプの住戸提案をしている。

各住棟に囲まれた広場をグリッド状にデザインし、高木、中木、ベンチ等を配置してコミュニケーション形成の場として整備している。

- ・C街区…「ヒューマンスケール」

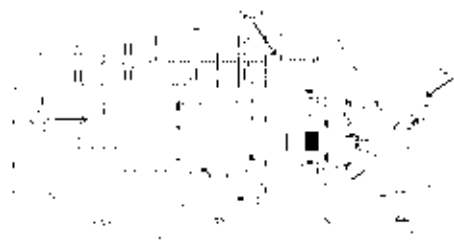
1階建住戸、2階建住戸を交互に有する住棟を平行に配置する計画としている。

1階建住戸には、バルコニー側から住戸間通路にアクセスできる勝手口を設置しており、南面からも出入りが可能となっている。

2階建住戸には各戸専用の外部階段、ガーデニング等の利用が可能なルーフテラスを設けている。

各住戸内部に梁等を突出させない構造や水周りを集中させる方式を採用することによって、将来の居住空間および水周りの自由な変更を可能とした。

各住棟間には路地状通路を設け、玄関、勝手口及び専用外部階段でコミュニケーションを誘発させる計画とし、界限空間の演出と共に相互監視的意味合いを持たせる計画としている。



全体配置図